



全日本U-12サッカー選手権

札幌地区プレーオフ・ブロック予選

全道大会進出おめでとう！！

コンサドーレ札幌U-12 LIV.FC U-12
コンサドーレ札幌BLACK 札幌ジュニア

16ブロックに分かれたリーグ戦で出場枠を勝ち取った32チームとシード枠の8チームの計40チームが全日本大会出場を目指し、札幌地区プレーオフ、ブロック大会と戦い抜きました。白熱する好ゲームが繰り広げられ、上記4チームが全道大会への切符を勝ち取りました。

9月21日(土) SSAP 第1ブロック

コンサドーレ札幌U12	AGGRE	
5	2-0 3-0	0

前半開始早々試合が動く。2分、コンサドーレ④からの縦パスを⑩が押し込んで1点先制。その後もコンサドーレのペースで試合が進む。コンサドーレは前が空いたらドリブルで切り込み、空いたスペースへ縦パスを通すといった展開を続け、14分、またもコンサドーレは④から⑩へパス。1人抜いてシュートを決め1点追加した。一方のアグレは17分、⑨が切り込んでシュートを打つも枠の外。そのままのペースで前半が終了した。

後半もコンサドーレの勢いは止まらない。26分、コンサドーレ⑨がセンターサークル付近でボールを奪いそのままゴールまで独走シュート。これを確実に

に決めコンサドーレが追加点を奪った。

31分にはコンサドーレ⑥からのパスを⑨が決め、さらに試合終了間際には、⑭がペナルティエリア内での混戦のなかシュートを放ち1点追加。

終わってみれば5対0でコンサドーレが全道大会への切符を手に入れた。アグレも要所で粘りの守備を見せたが、コンサドーレの勢いがそれを上回った試合となった。



9月21日(土) SSAP 第2ブロック

SSS札幌	LIV.FC U-12	
0	0-0 0-0 0延前0 0延後0 3PK4	0

第2ブロック決勝は、リーグ戦1部で同じBブロックに所属したチーム同士、共にシード枠から勝ち上がった好カードとなった。序盤からお互いに激しいプレスの連続でめまぐるしく攻守が入れ替わる一進一退の状況となった。最初のチャンスは3分、エリア左手前からLIV49のフリーキック。これは相手DFにあたりゴールとはならず。一方のSSSは

10分、ショートカウンターで⑦から⑩へとパスがつながりシュートとなったが、GK正面で決まらず。前半14分あたりからSSSは⑦を中心にポゼッションの時間帯が増えるが、LIVのディフェンスが大事な部分でしっかりと守り、シュートまで持ち込ませない。

後半に入り22分、LIV49のシュートは枠外へ。これ以降LIVの攻勢が続いたが、24分、堅い守備からのカウンターでSSS⑩が右サイドからドリブル突破、ゴールファーサイドを狙ったシュートは惜しくも枠を外れる。その後も両者譲らず、一進一退の攻防が続く中、37分にビッグチャンスをつかんだのはSSS。カウンターから右サイドを⑩がドリブルで抜けだしGKと1対1。右に動いたGKの逆について左サイドを狙ったグラウンダーのシュート。しかし、わずかに枠を外れ、スコアレスで延長戦に突入することとなった。延長戦でも両者譲らず、激しい攻防が続いた。体力を消耗する中でも、堅いディフェンスで決定的なシュートチャンスを作させない。終了間際にはLIVの攻撃が続いたがゴールを奪うところまではいかず、両者スコアレスの引き分け。PK戦の結果、3対4でLIVが第4ブロックの代表をつかんだ。



9月21日(土) SSAP 第3ブロック		
コンサドーレ札幌 BLACK	NORTE	
2	0-1 2-0	1

前半はお互い様子を見る展開に。両チームともに横パスをつなぎながら縦へ行くタイミングをうかがっていた。試合が動いたのは12分。コンサBLACKはキーパーへバックパス。これをキーパーがまさか

のミスキック。そのままボールはゴールへ吸い込まれ、オウンゴールという形でノルテが1点先制した。

その後コンサBLACKはミスの1点を取り返すために猛攻を仕掛ける。17分にはフリーキックのチャンスを③がシュート。これは惜しくも枠の外。さらに前半終了間際コーナーキックのチャンス。③がヘッドで合わすもこちらも枠の外。そのままノルテの1点リードで前半が終了した。

後半開始早々コンサBLACKがチャンスを得る。サイドからのセンタリングをまたも③がヘッドで合わせるが惜しくも枠の外。このまま流れを掴んだコンサBLACKは26分にシュートを放ち待望の1点をもぎとった。この魂の1点をきっかけにコンサBLACKの猛攻が始まった。34分、37分とコンサBLACKの23番が立て続けにミドルシュートを放つが、枠の外。そしてついに、38分コンサBLACK⑨がペナルティエリア内で体制を崩しながらもシュート。これがノルテのゴールに突き刺さり、逆転ゴールとなった。そのまま試合は終了し、2-1でコンサBLACKが勝利。全道大会進出を決めた。

9月21日(土) SSAP 第4ブロック		
DENOVA	札幌ジュニア	
0	0-0 0-0 0延前0 0延後1	1

立ち上がりから互いに球際の激しい攻防が続く。徐々に札幌ジュニアが主導権を握りはじめ、DENOVAゴールへ迫りチャンスを作る時間帯が多くなるが、DENOVAの粘り強い守備にゴールを奪うことができない。前半をスコアレスドローに終わる。

後半も開始早々から激しい攻防が続き、お互いにゴールを奪うことができない時間が続く。札幌ジュニア59番の強烈なミドルシュートもDENOVA1番のGKの好セーブに何度も阻まれる。後半もお互いにチャンスがあるもののゴールを奪えず、0-0のまま延長戦へ突入する。

延長でも両者譲らず、互いに激しいディフェンス

で決定的なチャンスを作らせない。

このまま終了かと思われた延長後半の終了間際、札幌ジュニアのクリアボールが DENOVA ゴール前へ。高く浮いたクリアボールは DENOVA ゴール前でバウンドし GK の頭上を越えてしまい、そのままゴールへ吸い込まれる。

お互いに攻守での高い技術と、全カプレーの見応えある一戦は札幌ジュニアが延長戦を制し、全道大会への切符を手にした。

